



青灯社 新刊案内

(取引取次) 日販・トーハン・大阪屋栗田・
八木書店・JRC・新日本図書

2019年6月15日 発売

左派・リベラル派が勝つための 経済政策作戦会議

松尾 匡 / 「ひとびとの経済政策研究会」 著

緊急出版！ 欧米で大注目、反緊縮政策のススメ リベラル派は安倍政権の景気対策に敗れてきた

- ◇ 財政赤字や円の暴落は心配無用！ 財政危機論は新自由主義のプロパガンダ。
- ◆ 経済・雇用を最大の関心事とする若者たちが政治に求めるものとは。
なぜ安倍政権の支持率が高いか。雇用改善など経済データで見事に解明。
- ◇ 格差、最低賃金、増税、社会保障……気になる問題のひとつひとつに注目し、
緊縮ではなく「お金を使うリベラル政治」の像を有権者と野党議員らに提案する
- ◆ 森永卓郎、適菜収、山本太郎はじめ、経済学者、識者、政治家に賛同が広がる。

＜目次＞

I なぜリベラル派は負け続けているのか (松尾 匡)

若い世代の関心は「景気・雇用」／今出現しているのは古典的「窮乏」／リベラル派はなぜ勝てないのか
「お金を出しませんよ」に反対する世界の民衆／欧米の派手な反緊縮政策／消費税を上げずにすむ根拠は？

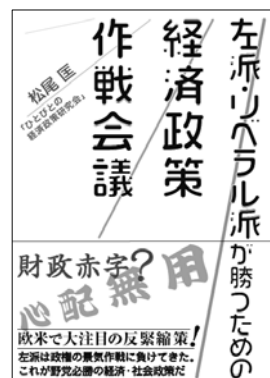
II 反緊縮の経済政策マニフェスト (「ひとびとの経済政策研究会」)

消費税を上げない／雇用創出・最低賃金の大幅引上げ／法人税の優遇措置をなくす・富裕層に増税
財政危機はまやかし／地方でも常に仕事が続くインフラ事業を／教育・保育の無償化、介護、医療の充実

松尾 匡(まつお・ただす)

立命館大学経済学部教授。専門は理論経済学。1961年、石川県生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了。
論文「商人道！」で第3回河上肇賞奨励賞を受賞。著書『この経済政策が民主主義を救う』(大月書店)、『ケインズの逆襲、ハイエクの慧』
(PHP新書)、『新しい左翼入門』(講談社現代新書)、『そろそろ左派は(経済)を語ろう』[共著、亜紀書房]ほか。

「ひとびとの経済政策研究会」(代表・松尾匡)



定価：1500円＋税

四六版・並製 164ページ

青灯社

営業
(担当・辻)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550
eメール sales@seitosh-p.co.jp

(書店印)
ジャンル／政治・経済

松尾 匡 / 「ひとびとの経済政策研究会」 著

左派・リベラル派が勝つための経済政策作戦会議

冊

I S B N 978-4-86228-107-4 C0033

定価 1500円＋税